

2年生の総合的な探究の時間では、昨年度より企業課題探究の一環として、協働企業様のご厚意で、校外学習を実施しています。

世界規模のビジネスプランコンテストで複数回優勝経験をお持ちの株式会社ネクストクリエイションの清藤貴博様にご協力いただきながら活動を行っています。

今回ご紹介する内容は、

- ・清藤様が五代目店主を務めておられる高石餅店でのおはぎ作り体験
- ・スタートアップ企業である DanACreations 様と協働している生徒たちが、自分のビジネスアイデアを聞いていただきフィードバックをいただくワークショップ
- ・株式会社コラボプラネット様を講師に「問題作成アプリを使って、『高石餅店』のことを小学生に紹介しよう」というワークショップ

です！



まずは清藤様のお母様に教わりながらおはぎ作り体験。

作ったおはぎはその場で食べられるとあって、生徒たちは楽しそうに作業していました。



「実はこのお店は創業115年になる歴史あるお店なんですよ」と教えていただきました。佐賀県産の新米を使い、つきたて・添加物ゼロにこだわっておられるそうです。自分でつくったおいしいおはぎと門司の海を望む美しいロケーションも相まって、生徒たちのテンションが一気に上がります。



「私は運動部に所属していて、アスリートが気軽に食べられるお菓子を開発したいと思っています。調べたらお餅は栄養的にも消化効率的にもいいのでは？ と思えるデータがあったのですが、お餅屋さんとしてはどう思われますか？」という質問が出ました。

「私たちのお餅は日持ちがしないから、そこが難しいですね。でも、北九州マラソンの前に買われる方もいるので、着想としてはおもしろいですよね」と清藤様。

「高校生のアイデアっておもしろいね。もっと具体的にプランを詰めておいで！」とお母様。



場所を近所の小森江東公民館に移し、生徒のプレゼンを聞いていただきます。

「ライブに行くと高いし、ジャズバーなどは若者には敷居が高すぎるので、気軽に音楽を楽しめる場をつくりたい」

という着想からビジネスアイデアを考案している生徒。

「大人にはわからない価値を打ち出せば差別化がはかれるよ、たとえば小倉にある～」と、複数の競合するコンセプトを持つカフェやレストランを紹介していただきました。



価格と付加価値のイメージをしっかりと持つように言われたチームもありました。

「現時点での利用料の想定が月額 580 円、と言っていたけど、年間にすると 7,000 円近くかかるということですね。ということは仮に年間一万円以下でお得ですよ、と言われても契約するかどうか……」

と同席された株式会社コラボプラネットの森山様。シビアな指摘に生徒は次に考えるべき課題を見出していました。

生徒のプレゼン後は、「地域や企業の魅力を発信×小学生向けの学習アプリ」をテーマにビジネス展開を進めようとしているコラボプラネット様のアプリを体験。

「今日知った『高石餅店』の魅力を伝えることをミッションに、小学生向けの歴史や算数の問題を使って取り組んでみましょう」と言われ、ワーク開始。



太郎くんはお母さんにお小遣いで5000円もらいました。高石餅店では1セット4個入りで、あん入りが500円、あんなしが300円で売られています。あん入りを4セット買いました。残りのお小遣いであんなしは何セット買えるでしょうか。

☐ 5セット
☐ 8セット
☐ 10セット
☐ 12セット

答えを見る

解説

2/2

【答え】

10セット

【解説】

あん入りは1セット500円。4セット買うと $500 \times 4 = 2000$ 円 お小遣いを5000円もらったので、 $5000 - 2000 = 3000$ 円 あんなしは1セット300円なので $3000 \div 300 = 10$ 答えは10セットです。

【今日の題材を紹介！】

高石餅店では6種類のお餅が売られています。

あんこもちの味の種類はあんこ、抹茶、きな粉梅シソ、シナモン、ココアなどの珍しい味がたくさんあります。

【企業紹介】

↑ 生徒の作成した問題のデモ画面です。

清藤様に「先ほどはお母様がお一人で作っておられるように見えてましたが、お餅は一日に何個くらい作れますか？」「こだわりのある餅米や小豆を使っておられると思いますが、仕入れ価格はどうなっていますか？」など質問しながら、小学4年生を想定して問題作成に取り組んでいました。

「このアプリを使って、自分のビジネスを知ってもらうなら？ という観点で考えてみると、より具体的に想定しなければならぬ課題が見えてきそうですね」とお話しいただきました。

「好き」「おもしろそう」が原点の自分たちのビジネスアイデアに対して、大人たちが「おもしろいね!」「やってみればいいのに!」と言ってくれるたび、生徒の表情が生き生きしてくるのが印象的でした。厳しいフィードバックもいただきましたが、困って黙ってしまうのではなく、なんとか考えて解答しようとしている姿勢も覗えました。貴重な学びの機会をいただき、ありがとうございました。